



§1 難防除虫害「イネミズゾウムシ」の生態

イネミズゾウムシは昭和51年に愛知県で初めて発見された、米国原産の侵入害虫で、侵入して10年後には全国に分布拡大した、イネに加害する害虫です。

＜形態＞成虫で体長 2.5～3.5mm、幅 1.2～1.8mmの灰白色の鱗片で覆われ、胸部や腹部背面に黒色の斑紋がある甲虫です。

＜生態＞年1回の発生。成虫で、雑木林や笹藪、水田畦畔の落葉や枯草の下で越冬します。4月中旬ごろからイネ科雑草を摂食します。田植が済むと水田内に歩行侵入し苗を食害し、5月末から6月上旬が発生盛期となります。本種は雌だけの単為生殖で、産卵は水中のイネ葉鞘内に行われ、1週間後には幼虫となり、土中に潜り根部に付着して根を摂食し、40日程度で老熟幼虫となり根に長球型の土繭を作りその中で蛹となり、1～2週間で羽化します。

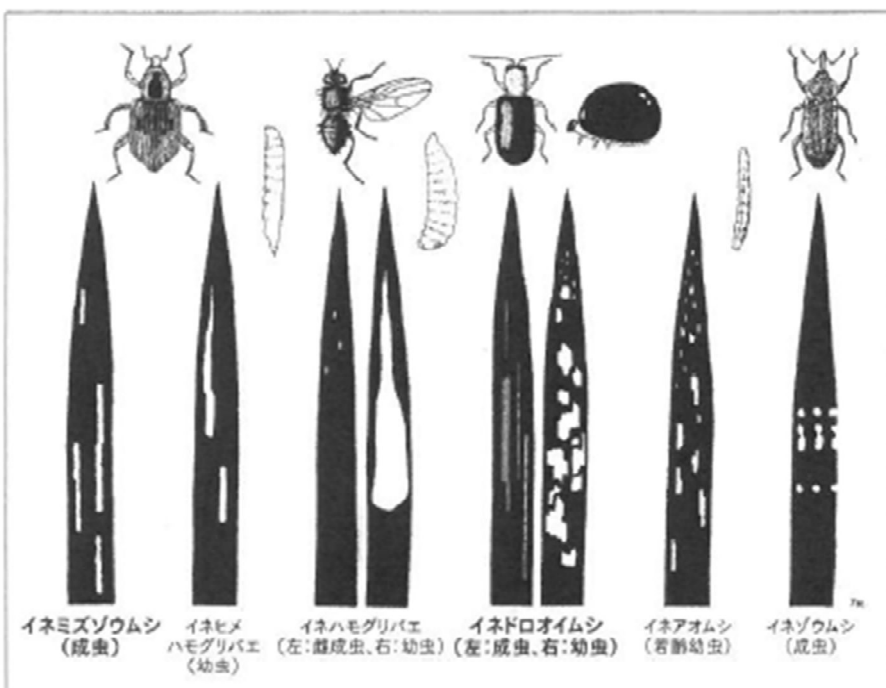
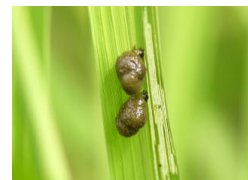
＜被害と診断＞成虫はイネの葉を、幼虫はイネの根を加害します。成虫はイネの葉を葉脈に沿ってかすり状に接触し、幅1mm、長さ数 cm の幅が一定で形が整った細長い食痕を残します。若齢幼虫は根に潜入り、根を摂食して噛み切ります。多発すると根が十分に確保できず、生育阻害が発生し、分けつが進まず減収となります。



§2 難防除虫害「イネドロオウムシ」の生態

イネドロオウムシ(和名:イネクビホソハムシ)は、昆虫目ハムシ科、体長 4-5mm、胸部は細くて黄褐色で全体に輝きのある青藍色の甲虫で、胸部の背面はオレンジ色です。日本各地に生息していますが、北日本や中部、中国地方の山間部、特に寒冷地で問題となる害虫です。

＜生態＞年1回の発生で、成虫でマコモや竹、ススキなどの株元に潜って越冬します。越冬成虫は5月上旬から活動し、畦畔雑草や田植え直後のイネを加害します。入梅以降に孵化が本格化し6月末頃から白い繭が見られ、7月中下旬に新成虫が現れます。幼虫は黄褐色で、体長 5mm程度で、背中に虫糞を背負っているため泥負虫と呼ばれます。



＜被害と診断＞

成虫、幼虫ともイネの葉身を加害します。成虫は葉脈に沿って縦に細長く数 cm から10数 cm の線を描いたように摂食し、食害葉は短冊状に裂けます。幼虫は葉の裏側から葉脈の間の葉肉を、葉裏の表皮を残して不規則にかじります。暖冬期は、成虫が早くから現れ、イネの生育初期から食害するので被害が大きく、5-6月が低温の年は、成虫の寿命が長く産卵数も多くなり、幼虫の死亡も少ないため被害が大きくなります。

☞＜参考＞

各種の害虫による葉の摂食被害痕です。

§3 水稲の病害虫防除の決め手！各種箱処理剤のご紹介

近年、一部の殺虫剤(ネオニコチノイド系)に抵抗性を持ったウンカ(セジロウンカ、トビイロウンカ)が飛来し、大きな被害をもたらすようになりました。箱処理剤の施用は本田防除の散布回数を減らし、散布労力及び、コストを下げる最も重要な防除方法です。カメムシを除く水稲の主要病害虫をしっかりと防除するには薬剤の特長をご理解いただき、栽培品種及び、前年までの病害虫の発生状況等を参考にして、薬剤選定をお願いします。

今月は、最近問題となっている病害虫に焦点を当てた、比較的新しい箱剤を紹介させていただきます。

岐阜県にて多く使用されている「エバーゴールド箱粒剤」は抵抗性ウンカに対し効果が低下し、ウンカ被害の多発しやすいハツシモ等の晩生品種には効果の高い「ヨーバルパワーEV箱粒剤」への切替をおすすめします。「ヨーバルパワー箱粒剤」は、いもち病防除に定評のルーチン(イソチアニル)と、紋枯病に効果が高いエバーゴールド(ペンフルフェン)、抵抗性ウンカにも効果がある(ピメトロジン)、チョウ目害虫をしっかりと抑えるヨーバル(テトラニリプロール)を配合し、カメムシを除く病害虫を幅広く長期にわたり防除します。

また、近年では10a当たりの育苗箱数を減らす高密度播種栽培が増加し、慣行使用量の50g/箱では安定した効果が期待できず高密度播種に対応できる登録が望まれるようになりました。このヨーバル剤は、全ての剤において高密度播種50g~100g/箱(1kg/10a)で登録がされており、例えば、10箱/10aの高密度播種の場合、100g/箱(1kg/10a)での施用も可能となります。

そして、カメムシの防除には新規有効成分で、フルピリミン含有の「エミリアフロアブル」(箱剤では商品名「リディア」)での防除をおすすめします。エミリアフロアブルは抵抗性ウンカ(セジロウンカ、トビイロウンカ)にも効果が高く、無人航空機による散布も可能です。

いもち病の「ルーチン、スタウト」混合箱粒剤			
商品名	適用病害虫名及び、特長	使用時期	使用量
ヨーバルパワーEV箱粒剤	いもち病、紋枯病、ウンカ、初期害虫、チョウ目害虫	は種時(覆土前)~ 移植当日	慣行播種 50g/箱
ヨーバルプライムEV箱粒剤	いもち病、紋枯病、初期害虫、チョウ目害虫	は種時(覆土前)~ 移植当日	慣行播種 50g/箱
ヨーバルUG箱粒剤	いもち病、ウンカ、初期害虫、チョウ目害虫	は種時(覆土前)~ 移植当日	慣行播種 50g/箱
ヨーバルトップ箱粒剤	いもち病、初期害虫、チョウ目害虫	は種時(覆土前)~ 移植当日	慣行播種 50g~75g/箱
箱将軍粒剤	いもち病の「スタウト」 紋枯病の「エバーゴールド」 ウンカの特効薬「ピラキサル」配合。チョウ目害虫	移植7日前~ 移植当日	慣行播種 50g/箱
※ヨーバル剤の使用量は高密度播種の場合、箱当り:50g~100g(1kg/10aまで)使用が可能。			

いもち病の「サンプラス」混合箱粒剤			
商品名	適用病害虫名及び、特長	使用時期	使用量
サンエース箱粒剤	2つの作用でいもち病を防除 稲こうじ病 ウンカの特効薬「ピラキサル」配合	移植3日前~ 移植当日	慣行播種 50g/箱
トリプルキック箱粒剤	いもち病、紋枯病、稲こうじ病 初期害虫、チョウ目害虫、イナゴ	移植3日前~ 移植当日	慣行播種 50g/箱

いもち病の「オリゼメート」混合箱粒剤			
商品名	適用病害虫名及び、特長	使用時期	使用量
Cs.オリゼリディアEV箱粒剤	いもち病の「オリゼメート」 紋枯病の「エバーゴールド」 抵抗性ウンカに効果が高い「リディア」配合	移植3日前~ 移植当日	慣行播種 50g/箱
Dr..オリゼリディア箱粒剤	いもち病の「オリゼメート」 抵抗性ウンカに効果が高い「リディア」配合	移植3日前~ 移植当日	慣行播種 50g/箱
ファーストオリゼリディア粒剤	いもち病の「オリゼメート」 抵抗性ウンカに効果が高い「リディア」配合	播種前床土混和 播種時	慣行播種 50g/箱